

## 2. 薬を飲みやすくするには

前回、内服薬について飲むタイミングや飲み合わせについてお伝えしました。

内服薬は錠剤以外にも  
カプセル剤や水剤など多  
くの形があります。特に飲  
みにくいものとしては粉  
末状の散剤・顆粒剤があり  
ます。これらを飲みやすく  
する方法としてオブラー  
トを使用する方法があり  
ます。

オブラーートを使用する際には、薬を包んだ後に水で少しの時間濡らしておくとトロミがつき、飲み込みやすくなります。また、唾液

が少ない場合にはあらかじめ水で口の中を潤しておくと破れにくくなります。飲み込む力が弱い場合には、とろみ剤やゼリー剤などに溶かして飲む方法も推奨されます。漢方薬も顆粒タイプのため、やや飲みにくいけれども、もともと生薬を煎じた薬なのでお湯または水に溶かして服用することができます。お薬をジュースやお茶などの水以外のものに溶かすことは薬の効き目や味に影響する可能性があるので、推奨できません。

大きくて飲み込めないものもあります。大抵は半分に割つてよい線（割線）が入っていれば割つても構いません。割るのが大変であれば、薬剤師に相談して割つてもらうことも可能です。割線が入っていない薬の場合、薬がゆっくり効くよう工夫がされています。胃酸で薬が弱くならないように、苦みがないように工夫されていることがありますので、自己判断で割つたり碎いたりしないようにしてください。このようなお薬の場合は、口の

中で溶ける口腔内崩壊錠(OD錠)に変えると飲みやすくなります。

また、フィルム状の薬も最近開発されています。OD錠やフィルム状の薬は唾液で溶けますが、唾液をきちんと飲み込まないと薬が効かないのです注意しましょう。他にも、ゼリータイプの薬、飲まずに貼つて効くテープタイプの薬など、代わりの薬の形がある場合もあるので、どうしても飲むのに苦労する場合には、医師や薬剤師に使いやすい剤型がない

An illustration showing several pharmaceutical items: two blister packs of capsules (one orange and white, one grey and white), a large bag labeled 'おくすり' (medicine) with three vertical lines, a glass bottle with a dropper, a small glass bottle with a blue liquid, and three small sachets of yellow powder.



か相談してみるのがよい  
かと思います。